

R6専門部会の取組

- ・ 課題が多様化していることを踏まえ、**複数の部会を設置**し、それぞれの部会で議論を展開
- ・ 現場を支える**実務担当者も交えた**意見交換・議論を展開
- ・ R6年度は「**普及啓発部会**」、「**人材確保部会**」、「**若手PT**」の**3部会体制**で実施

各部会のテーマ

<p>普及啓発部会</p>	<p>【テーマ】福祉業界全体のイメージアップ 東京都福祉人材確保対策推進協議会として、参画団体が一体となって福祉人材集中PR期間にムーブメントを起こすための議論を行う</p>
<p>人材確保部会</p>	<p>【テーマ】次世代の福祉人材確保 コロナ禍で減少した主に小中高生の学校教育における地域の当事者や福祉の実践者との直接的な関わりを充実させるための取組を検討</p>
<p>若手PT</p>	<p>【テーマ】若手職員の視点を、福祉人材確保対策（普及啓発含む）に反映 就活イベント、大学主催のキャリアセミナーへの出展に向け、求職者に対して、福祉の仕事を身近なものとして印象付けるために、どのようなアプローチが効果的か等について検討</p>

本部会の目的

福祉人材集中PR期間の効果的な実施方法について検討し、東京都福祉人材確保対策推進協議会として、参画団体が一体となってムーブメントを起こすための作戦会議を行う

● **福祉人材集中PR期間（11月実施）**

福祉人材の魅力発信素材（**WEBバナーやチラシ・ガイドブック等**）を用いて、推進協議会参画団体や民間企業等が福祉の魅力について一斉発信

【取組のポイント】

- WEB上におけるPRにおいて、**福祉職自身の発信を促す工夫**
⇒ **各事業所やインフルエンサー**の巻き込み
- **民間企業**の巻き込み
- **保護者・教員**へのアプローチ
- 都の**他事業と連携**（福祉の仕事イメージアップキャンペーン事業・介護の魅力PR事業）
⇒ 同時期に実施し、互いに連携して相乗効果の創出を図る

スケジュール

第1回

令和6年7月8日（月）

福祉人材の魅力発信素材（案）に関する意見交換①

第2回

令和6年9～10月（予定）

・福祉人材の魅力発信素材（案）に関する意見交換②
・より効果的な連携・発信方法の検討

福祉人材集中
PR期間

令和6年11月

一斉PRを実施

第3回

令和7年1～2月（予定）

福祉人材集中PR期間の振り返り
次年度以降に向けた検討

(参考) 各専門部会の構成団体

普及啓発部会

- 東京都高齢者福祉施設協議会
- 保育部会
- 知的発達障害部会
- 『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会
- 東京社会福祉士会
- 東京都介護福祉士会
- 東京労働局
- 市
- 町村

人材確保部会

- 東京都介護保険居宅事業者連絡会
- 児童部会
- 身体障害者福祉部会
- 区市町村社会福祉協議会部会
- 東京都老人保健施設協会
- 全国保育士養成協議会
- 日本介護福祉士養成施設協会
関東信越ブロック協議会 東京部会
- 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
- 東京ボランティア・市民活動センター
- 特別区
- 都立赤羽北桜高等学校 ※オブザーバー

若手PT

- 東京都高齢者福祉施設協議会
- 東京都介護保険居宅事業者連絡会
- 知的発達障害部会
- 身体障害者福祉部会

※若手職員は入職3年目～5年目までの職員を想定。